

◆ 学校支援地域本部の活動とは ◆

学校支援地域本部は令和2年度において、文京区立小学校16校（区内80%の設置率）区立中学校7校（区内70%の設置率）で活動が展開されています。駒本小学校は、平成20年度に活動が始まりました。文京区教育委員会では、未設置校も準備が整い次第順次開設していく予定です。

学校支援地域本部の活動は各々の学校の特色を生かした内容となっており、本校の場合「地域学校協働活動（子どもを中心として地域と学校が一緒に問題解決に取り組む活動）」を核として①児童が安心して学校に通える環境を整えること②どの子ども学びへの意欲が高まるような環境を整えることを最優先に、地域教育協議会で決められた支援活動を実践しています。

～児童が安心して学校に通えるように～

■スクールガード活動（通年/約370名のボランティアを登録しています）

スクールガードとは、児童の登下校の見守り活動です。駒本小のPTAの皆様は、スクールガードボランティアに登録させていただいております。ご自身のお子さまの登下校へ付き添う機会がありましたら、ぜひ周囲の児童にも気を配っていただくとありがたいです。また保護者の皆様以外に浅草町会・蓬萊町会の有志の皆様も、スクールガードボランティアに登録くださっています。付き添い途中の事故や怪我に関して、学校支援地域本部がボランティア保険に加入しています。何かありましたら、地域コーディネーターまでご連絡ください。



■通学路の危険箇所点検並びに改修への働きかけ（通年）

文京区教育委員会、文京区道路課、駒込警察署と共に、年1回通学路点検を行い危険箇所の改修を働きかけている他、随時危険箇所の点検活動を行っています。保護者や地域の皆様からも、危険な場所の情報提供をお願いいたします。これまでに、飛び出し禁止の道路ペイント・カーブミラーの設置・高いブロック塀の改修の働きかけ・歩道橋安全柵や安全ボールの設置・ガードレール設置の働きかけ・スクールゾーンの調査・歩道拡張の働きかけ等を行っています。

■校外学習への付き添いボランティア（随時/遠足…1学期・地域調べ…2学期等/年間延べ30名以上）

本校は地域も学びの場であるため校外学習が積極的に実施されています。班活動で校外学習を行う際には、安全確保のためのボランティアを募っています。やる気満々の児童は、興味関心のあるものに意識が集中し周囲の危険に気が付かない場合も多々あります。班に1名以上のボランティアに入らせていただいております。

■新入生の生活支援ボランティア（入学～5月下旬/8名程度）

学習の準備を整える生活支援ボランティアが、毎日各クラス1～2名入っています。連日の生活支援は大変ですので、日ごとにボランティアが交替しながら活動していきます。

特に給食の配膳は、学級担任の指導だけでは大変な状況です。入学したての児童はお盆を真っ直ぐ持つことさえままならず、食器を落として怪我をしてしまう危険があります。牛乳パックを開けることもできません。嫌いな食材を食べられず、泣いてしまう子もいます。最初は列に並ぶことが苦手な子もいます。児童が新しい環境に少しでも早く慣れるように、生活支援ボランティアの役割はとても重要です。

■消音用テニスボールの取り付けボランティア（年度の切り替わる時期/5～10名程度）

校舎の快適化工事により見た目は綺麗になりましたが、建物は古いため上の階の物音が大きく響き、集中力を奪います。授業が終わった際に椅子を引きずる騒音は、消音用テニスボールでかなり軽減されました。

～どの子ども学びへの意欲が高まるように～

■読み聞かせサークルボランティア（通年/10～20名程度）

朝の読み聞かせ活動は、平成19年より続いている活動です。PTAや卒業生の保護者、地域の方がボランティアとして関わってくださっています。読み聞かせのあとは、集中して授業に臨むことができます。



■外国語活動支援ボランティア（通年/年間延べ30名程度）

早稲田大学国際教養学部の短期留学生が外国語活動のボランティアに入ってくださいしています。授業だけでなく給食や休み時間もともにすることで、様々な国の学生と国際理解を深める機会にもなっています。現在はコロナ禍で中断されていますが、状況が整い次第再開いたします。



■体力テスト測定ボランティア（5月頃/10名程度）

記録係やタイムキーパー等のボランティアをお願いしています。



■ミシンサポートボランティア（9月～11月上旬/5～10名程度）

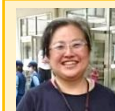
初めてミシンでバッグを作る際に、ボランティアをお願いしています。



■音楽教育支援ボランティア（6月あるいは2月頃/延べ20名程度）

東洋大学箏曲部の学生に、お琴の指導ボランティアをお願いしています。

その他にも、■福祉教育の支援活動（2学期）■防災教育の支援活動（2学期）■ICT教育の支援活動（通年）■校外学習場所の交渉や受け入れ態勢の支援（通年）■外部講師による授業の支援活動（通年）■児童の見守り支援活動（通年）■漢字検定・算数検定の実施（年3回）等、主体的な学びの機会を増やしています。



◆ ご挨拶 ◆ 学校運営協議会会長/学校支援地域本部地域コーディネーター 水木優香

年始の華やいだ気分を置き去りにしたまま令和3年が始まりました。私は「息子を笑顔にしたい」と思い、学校支援地域本部を立ち上げました。そしてお友達や先生も含め駒本小をみんな笑顔にしたいと願い、この地域の素晴らしい教育力を駒本小へ繋ぎ、今年でやっと13年目。ようやく本校の目指す形に近づいてきました。

記事をご覧になるとご理解いただけると思うのですが、個々の興味関心に基づいた学びを主体的に進めていくためには、ボランティアの皆様のお力添えが欠かせません。ボランティアのご協力が無ければ、中断せざるを得ない授業や事業も多々あります。今回の記事には載せていませんが、こどもひろば（校庭開放事業）やこども食堂（定泉寺こども食堂）の運営も、親子を「孤育て」から開放するための大切な事業として、ボランティアの皆様のお力添えをたくさんいただいております。

どうぞ今年も、駒本子どもたちを皆で育てるために、ボランティアへのご協力をよろしくお願いいたします。コロナ禍だからこそ大人が1つ1つの事柄を大切に繋げて、一緒に子どもたちの笑顔を作っていきましょう。